



無担保社債及び第12回新株予約権の 発行に関するQ&A

2024年5月17日
株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
証券コード：4576

2024年5月17日付「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の償還及び第11回新株予約権の取得・消却並びに第三者割当による無担保社債（私募債）及び第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」に関するQ&Aをまとめました。

「無担保社債（私募債）及び第12回新株予約権（行使価額修正条項付）」を以下「本資金調達」といいます。

No.	質問	回答
1	なぜこのタイミングで本資金調達をするのでしょうか？	当社は、現在「H-1337」の米国PⅡb試験を行っておりますが、スムーズな開発推進が「H-1337」の価値最大化につながるものと考え、次相であるPⅢ試験の準備を進めております。PⅢ試験は必要な準備も多大でかつ準備期間も短いことから、機動的に拠出可能な最低限の開発資金を確保することが重要と考え、このタイミングでの資金調達を決断しました。
2	本資金調達スキームを選んだ理由は何でしょうか？	社債の発行により、新株予約権の行使を待たずに当社が即時に一定の資金を調達することができ、その後の新株予約権の行使により、段階的に追加の資金調達を行う仕組みとなっているためです。 社債発行資金は、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の償還に充当しますが、本資金調達のスキームにより現状の現預金水準を維持することが可能となります。

No.	質問	回答
3	本資金調達スキームのメリットは？	<p>社債発行時に一定の資金を調達することが可能であり、その後段階的に追加の資金調達を行うことができます。</p> <p>新株予約権については、発行当初から対象株式数13,000千株と固定されており、稀薄化の割合の上限が予め固定されています。</p> <p>また、株価に連動して行使価額が修正されることから、株価上昇時には資金調達額が増加します。</p> <p>なお、割当予定先は、新株予約権の行使により取得した当社株式を長期保有の意向を有する海外機関投資家に対して市場外で売却していく意向であるため、一般的な新株予約権を利用した資金調達に比較して短期的な市場への影響が軽減される可能性があります。</p>
4	本資金調達スキームのデメリットは？	<p>最大増加株式数は固定されているものの、新株予約権が行使された場合には、発行済株式総数が増加するため議決権行使に係る希薄化が生じます。</p> <p>また、株価低迷時に資金調達が当初想定額を大きく下回る可能性があります。</p>
5	株式はいつ発行されますか？	<p>行使期間は3年間（2024年6月4日～2027年6月3日）であり、その間の行使により株式が発行されます。</p>
6	本社債の償還期日はいつですか？	<p>社債の償還期日は、2027年6月3日となります。</p>

No.	質問	回答
7	割当予定先として Cantor Fitzgerald Europe を選んだ理由は？	<p>当社の置かれている状況、事業モデル、経営方針、資金需要等に理解が深く、提案を受けたスキームや諸条件等が、当社の幅広いニーズを満たすものであると判断し選定いたしました。</p> <p>割当予定先からは、新株予約権の行使により交付される株式について、これを一定期間保有する意向を有する海外機関投資家に対して市場外で売却していく意向があると伺っており、当社への安定的な投資が期待できます。また、割当予定先の属する Cantor Fitzgerald グループは、世界各国に拠点を有する金融サービスグループであり、バイオヘルスケアを注力領域として毎年米国でグローバル・ヘルスケア・カンファレンスを開催しており、当分野における知見が蓄積されているだけでなく、全世界の機関投資家とのネットワークを有していることから、グローバル市場における当社のプレゼンス向上が期待され、株主価値向上のために投資家層の多様性拡大を目指す上でメリットがあると考えております。</p>
8	今回、Cantor Fitzgerald Europe へ貸株を行う予定はありますか？	貸株を行う予定はありません。
9	本資金調達が進まない場合の対応はどうなりますか？	株価が長期的に下限行使価額を下回る状況では、新株予約権の行使は見込まれず、調達額が当初想定額を下回る可能性があります。その場合は、『①「H-1337」の開発資金』を優先的に充当し、その後『②創薬研究活動及び新規パイプライン獲得／開発推進に係る費用等』『④運転資金』に充当いたします。
10	行使価額修正の具体的な方法は？	行使価額は、新株予約権の各行使請求の通知が行われた日の属する週の前週の最終取引日の終値の90%に相当する金額に修正されます。但し、71.5円を下限行使価額とします。



「日本発の画期的な新薬を世界へ」

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の結果は事業環境の変化等の様々な要因により、将来見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社がかかる情報の正確性、適切性等について検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。

株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所